

科目番号：AE13J22

科目名：表象文化論演習

担当教員：渡部宏樹

成績評価方法：1) 口頭発表 30%、2) 期末課題 70%

成績評価基準：

	A+ (90点以上)	A (80～89点)	B (70～79点)	C (60～69点)	D (60点未満)
1) 口頭発表 発表内容 20%	根拠に基づいた論理性だけでなく独創性のある発表を行った。	根拠に基づいた論理的な発表を行った。	充実した内容の発表を行った。	内容が十分に練られていないところもあるが、発表はできた。	発表の内容が不十分である。
1) 口頭発表 発表の準備 10%	発表内容の理解を補助しさらに深い洞察を促すスライドやレジュメ等を準備している。	発表内容の理解を補助する点で優れたスライドやレジュメ等を準備している。	発表内容と照らして適切なスライドやレジュメ等を準備している。	スライドやレジュメ等を準備しているが、内容が不十分である。	スライドやレジュメ等を準備していない。
2) 期末課題 テーマの設定 20%	授業内の指示に従って特に優れたテーマの設定を行い、また独創性に優れている。	授業内の指示に従って優れたテーマの設定を行っている。	授業内の指示に従って適切なテーマの設定を行っている。	授業内の指示に従ってテーマの設定を行っているが、不十分な点がある。	授業内の指示に従ったテーマの設定ができていない。
2) 期末課題 議論の内容 20%	論文全体を通して高度に論理的な議論を行っている。	論文全体を通して首尾一貫した論理的な議論を行っている。	論理的に説得力のある議論を行っている。	論理的な議論をしようとしているが、説得力にかける部分もある。	論理的な議論ができていない。
2) 期末課題 先行研究 20%	先行研究を議論にうまく取り入れた上で、適切な学術的批判も行っている。	先行研究の議論をうまく自身の議論に取り入れている。	先行研究に適切に言及している。	先行研究に言及しているが、その理解や引用の仕方が適切ではない。	先行研究に言及していない。
2) 期末課題 フォーマット 10%	指定されたフォーマットに則り、誤字脱字がなく、論旨が明快に整理されている。	指定されたフォーマットに則り、論旨が整理されている。	指定されたフォーマットに則っている。	指定されたフォーマットを逸脱した部分がある。	指定されたフォーマットに従っていない。